

核兵器をなくそう！

国民平和大行進

戦後69年。広島・長崎では暑
い夏と核兵器廃絶世界大会が近づ
いてきました。

2014年国民平和大行進（皆
野・長瀬コース）は7月10日、
大浜児童公園から親鼻橋まで町中
を元気にパレードしました。

パレードに先立ち、児童公園で
は高橋代表、常山皆野町議、秩父
土建の挨拶。18時出発、参加者
は「核兵器をなくそう」「武器の輸
出反対」「原発、再稼働反対」「子
供を守る」大きな声で町の人た
ちにアピールしました。



大浜公園から出発

今年も、世界大会に皆野・長瀬
から世界大会に代表を送りたい
と考えています。



町役場にて訴える

パレードに先立って

パレードだけでなく平和運動
を理解して、広めるために今年
も、役場に町長、議長、教育長
と懇談し署名、カンパを訴えま
した。

又、パレードコース沿いの
家々を訪ね核兵器廃絶の署名を
していただきました。ご協力あ
りがとうございました。

「できる 地域活性！」

―秩父地域まちづくり―

協議会主催―

6月27日、秩父伝承館に於いて
「できる 地域活性！」と題して講
演会がありました。

講師は（財）北海道活性化機構

代表理事 木村俊明氏。

木村氏は1984年、小樽市に入
庁、その当時の小樽市の様子は「い
いところはなんにもないよ。何しに来
たの？」というタクシーの運転手。

その意識を実践で変えていく話
「いいところ、いっぱいある」に変わ
っていきました。

そこで強調したのが「自ら知り気
づかないかぎり、行動に移さないし
理解しない」ということでした。

地域活性の基本は「産業、文化、
歴史を掘りおこし、研ぎをかけ世界
に向けて発信するキラリと光るまち
づくり」

最後に見たビデオは鹿児島

鹿屋市「やねだん」集落、さつま
いもから焼酎をつくり、ポークス
の出る集落でした。

木村氏は、自分たちはどんな町
に住みたいのか、どんな町を次の
世代の子どもや若者に渡りたいの
か、急がずあわてず進めていって
ほしいと結びました。

「町づくりはむずかしい」「多く
の人の声です。

しかし、自ら知り（自分の町を
知り）気づかない限り（こない
いところがあつたのか）行動に移
さない。

まずは自分の町を検証し知るこ
とではないでしょうか。

常山 知子

